

令和5年2月28日  
茨城県霞ヶ浦環境科学センター

【報道関係者各位】

茨城県の環境の今 – 霞ヶ浦の水質と大気中のPM2.5 –

茨城県霞ヶ浦環境科学センター・公開セミナーを開催

茨城県霞ヶ浦環境科学センターでは、日頃、センター職員が行っている霞ヶ浦などの水環境や大気環境に関する調査研究について、**県民の皆様により分かりやすく発表を行う公開セミナー「茨城県の環境の今」**を開催します。

報道関係の皆様におかれましては、取材を賜りたくご案内申し上げます。

※公開セミナーは、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で5年ぶりの開催になります。

**【日時】 令和5年3月4日（土） 13:30～16:00**

**※ハイブリッドによる開催（定員 会場：60名、オンライン：100名）**

**【会場】 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール（茨城県土浦市沖宿町1853番地）**

基調講演「**霞ヶ浦の水質**」 – 霞ヶ浦ってどんな湖？ –

筑波大学 名誉教授 福島 武彦 氏

霞ヶ浦の水環境の特徴と変化について、他の湖沼との比較や水利用、地球温暖化など様々な切り口から考察し、霞ヶ浦の恵み（生態系サービス）を次世代に引き継ぐ重要性を解説します。

【講師プロフィール】

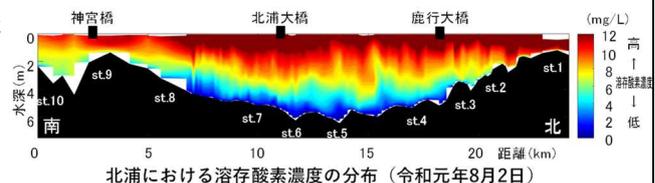
昭和49年（1974年）東京大学工学部卒業、工学博士（東京大学工学部）。平成29年（2017年）3月まで筑波大学生命環境系教授、その後、令和4年（2022年）3月まで当センターセンター長、現在当センター顧問。専門は土木環境システム、環境動態解析で、環境省の「底層溶存酸素量類型指定専門委員会」委員長や「ALPS処理水に係る海域モニタリング専門家会議」座長などを歴任。

研究発表

○**北浦の水質変動要因** – 汚れの原因は何だろう？ –

首席研究員兼湖沼環境研究室長 湯澤 美由紀

西浦と比較して水質の改善が見られない北浦について、令和元年度から3年をかけて当センターで実施した溶存酸素濃度の分布の詳細調査等から、栄養塩であるりんが底泥から溶出している影響が大きいことなどを明らかにしました。



○**県内のPM2.5の状況** – PM2.5って何？どこから飛んで来るの？ –

大気・化学物質研究室 主任 小田 直哉

大気中のPM2.5（微小粒子状物質）について、近年は県内全地点（19地点）で環境基準\*を下回っている状況ですが、冬季は一時的に高濃度化することもあり、当センターで実施した成分分析の結果から、この原因はバイオマス燃焼の影響が大きいことと考えられます。

\* PM2.5の環境基準：1年平均値 $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下 かつ 1日平均値 $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

分析室案内ツアー（希望者のみ） **所有する測定機器や実施している分析について紹介します。**

【 本件に関するお問い合わせ先 】

茨城県霞ヶ浦環境科学センター 担当：研究調整監 齋藤

TEL 029-828-0964 FAX 029-828-0968

令和5年  
**3月4日(土)**

13:30~16:00

ハイブリット開催  
(会場・オンライン)

参加費  
**無料**

要事前申込

# 茨城県の環境の今

## -霞ヶ浦の水質と大気中のPM2.5-

茨城県霞ヶ浦環境科学センターでは、県内の湖沼・河川の水環境や大気環境などの保全に取り組むため、調査研究を行っています。

公開セミナーでは、環境保全にご興味のある学生や一般のみなさまに理解を深めていただくため、茨城県の環境の現状について最新の調査研究結果などを踏まえて分かりやすく解説します。

会場

茨城県霞ヶ浦環境科学センター  
1階 多目的ホール  
土浦市沖宿町1853番地

定員

会場 60名 (先着)  
オンラインZoom 100回線 (先着)

プログラム

※ 進行により時間は多少前後することがあります。  
※ 会場の様子は、記録のため録画されます。

申込みはこちらから

令和5年**3月1日(水)**までに、  
QRコード又は下記アドレスから  
「いばらき電子申請・届出フォーム」  
にアクセスし、必要事項を記入の上、  
お申し込みください。



[https://s-kantan.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=38645](https://s-kantan.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=38645)

13:00 開場

13:30 開会の挨拶

センター長 江幡 一弘

13:35 基調講演

### 「霞ヶ浦の水質」

筑波大学 名誉教授 福島 武彦 氏

霞ヶ浦ってどんな湖？

日本で二番目に大きい霞ヶ浦について、水環境の特徴と変化、今後に向けてみんなで何ができるかななどを、解説します。



14:35 休憩

14:40 研究発表

### ○北浦の水質変動要因

首席研究員兼湖沼環境研究室長 湯澤 美由紀

汚れの原因は何だろう？

西浦と比較して水質の改善が見られない北浦について、水質汚濁の要因を解説します。

### ○県内のPM2.5の状況

大気・化学物質研究室 主任 小田 直哉

PM2.5って何？どこから飛んで来るの？

大気汚染物質のひとつであるPM2.5(微小粒子状物質)とは何か、モニタリングや成分分析から分かることを解説します。

15:40 分析室案内ツアー

16:00 閉会

